行政目標

人口減少の歯止めは 新たな施策の展開を図る

山﨑（やまさき） 正男（まさお） 議員

問 町民が喜びや生きがいを持って生活ができるよう行政目標を持ち、進めていくのか。

また、人口減少の歯止めはかけられるか。

答 **徳廣 企画調整室長**

2060年に6800人という目標達成をするための人口動態には至ってない。引き続き、人口減少に歯止めをかけるよう既存の施策や事業の見直し、そして新たな施策の展開を図る必要がある。

問 高規格道路の完成予定はいつか。

答 **河村 建設課長**

窪川佐賀道路の佐賀工区黒潮佐賀インターまでの6・2㎞の区間は、平成24年度に事業化。

佐賀大方道路黒潮大方インターの14㎞の区間は平成29年度に事業化。大方四万十道路、四万十インターまでの7・9㎞の区間は、平成31年度に事業化を行っている。

現時点での完成予定、供用開始時期は明確に示すことができない。

答 **松本 町長**

期成同盟会を通じて、早期完成は、力強く繰り返し要望しており、早期完成、供用を目指す。

問 地震津波や防災のまちづくりの考え方は。

答 **村越 情報防災課長**

黒潮町南海トラフ地震津波防災計画の基本的な考え方では、ソフトとハード事業のバランスがとれた災害に強いまちづくりを進めなければならないが、年次目標は令和17年度を最終年度としている。

高規格道路の早期完成が待たれる佐賀インター付近

問 土佐くろしお鉄道の経営管理の中期計画は。

答 **徳廣 企画調整室長**

土佐くろしお鉄道では、第1期の中期計画を総括した上で、令和5年度から令和9年度までの、第2期の中期計画を作り戦略施策を展開していく。

自然環境

海の資源 海藻の復活を 継続的な保全活動を展開

問 海の資源である海草海藻を復活させる考えは。

答 **今西 海洋森林課長**

現在、田野浦海域において、継続的な海藻の繁殖、保全に係る活動を展開している。

医療対策

常駐医師の確保は 町内のすべて常勤医師体制

問 常駐医師の確保についての考え方は。

夜間に安心して連絡が出来る体制があれば、住民は力強く感じるが。

答 **青木 地域住民課長**

本年1月から町内すべての医療機関が常勤医師になった。夜間、病院にかかる必要が生じた時には、消防署に救急搬送を要請して欲しい。

問 かしま荘の施設は老朽化していると考えるが改修していくのか。

答 **佐田 健康福祉課長**

町が定める公共施設等総合管理計画の中にかしま荘も位置付けられており、必要に応じて改修し、長寿命化に取り組んでいる。